2025年　9月　１日

マツダ事業助成に関する実施計画変更届

公益財団法人 マツダ財団 御中

所属機関名　　広島市立美鈴が丘高等学校

研究代表者

職 ・ 氏名　　高校CN・楠香谷　隆規　　　　印

事業名：マツダ事業助成－科学技術振興関係

事業期：2025年6月1日～2026年5月31日（予定）

マツダ財団より助成をうけた事業について、下記のとおり実施計画を変更させていただきますようお願い申しあげます。

記

1．変更の内容、スケジュール

　　従来の計画に、「３Dデータの生成とそれを利活用しての３Dプリンタによるデジタルファブリケーション」の試みを付加してみたいと思います。

従いまして、スケジュールの負荷調整として、「画像生成AI（Stable Diffusionの利活用等）による「２DCG」の生成」の部分を、ChatGPTなどのLLMを用いて実施し、省力化したいと思います。また、主なる購入器具設備として、パソコン（Chromebook）を想定しておりましたが、上記を考慮し、３Dプリンタとその関連部材（フィラメント等）の購入に変更したいと思います。

2．変更の事由

　本件につきましては、画像生成AIの利活用によるいわゆる「STEAM教育」推進が目的でした。しかしながら、近年、欧米ではSTEAM教育の一環として3Dプリンタの活用が学校で広く普及しているとのことですし、特に、日本において、この世界標準のものづくり教育の必要性が増していると思われます。このことを鑑みて、画像生成AIによる「２DCG」の生成（デジタルモノづくり）に止まらず、「３DCG・CAD➡３Dプリンタ」への発展的展開（デジタルファブリケーション）が必要ではないかと思われます。

# 参考：いまだに｢紙の図面｣を使う製造企業が54.3%もいる…日本が｢モノづくり大国｣から凋落した残念すぎる理由三次元データがあるのに､わざわざ二次元にしている？

# <https://president.jp/articles/-/79928?page=1> <https://www.youtube.com/watch?v=sMZ8TDRp1W4&t=968s>